

稼げる！プロコン育成塾 第4回講義

東京都中小企業診断士協会 中央支部認定マスターコース

開催日時 2012年9月29日(土) 13:00~19:00

開催場所 中央支部事務所

講義内容 『診る(コンサルティング)スキルを習得する②』

『実務診断を通じたプロコンとしての実践スキルの習得』

担当講師 田中敏夫 先生
亀田憲 先生

★当日の流れ

13:00~ 課題関連図の作成
16:00~ 実現方策図の作成

★講義の風景



写真1 本日も中央支部事務所で講義がスタート



写真2 初めに田中先生からのレクチャーがありました



写真3 1班へはメイン講師田中先生のご指導



写真4 2班は亀田先生のサポートが入ります



写真 5 3班は鴨志田塾長のサポートがありました



写真 6 皆さん、一日がかりの作業お疲れ様でした！

★第4回講義を終えて

今回の講義は、実務診断の第二回目の講義、塾生たちは前回の講義終了後から班ごとに情報交換をして、経営課題関連図の構成について考えてきました。経営課題関連図とは事実から生まれた複数の課題を目的と手段の関係で階層分けした図のことです。

経営課題関連図の作成手順は次の通りです。

①見出しカードの整理1

事実をグルーピングして、それぞれにつけた見出しカードを新しい模造紙に転記して、目的と手段・方策の関係に並べ替えます。

②見出しカードの整理2

見出しカードの配置が一通り終わった段階で、最初にグルーピングした事実情報のカードを再度確認します。事実情報カードの段階ですでに課題表現になっているもの、経営者の思いなどが記入されているものを、整理した見出しカードの間に追加し、配置します。

③課題関連図(プレ)作成

見出しカードの整理をしながら、さらにその段階で気が付いた課題や、目的と手段の関係が遠く、間にそれをつなぐために課題が必要となる場合は項目を追加します。また、項目を追加したらさらに全体を眺め、目的から手段までつながるようにカードを配置します。

④SWOT分析で現状を確認

再度、事実情報カードの模造紙に戻ります。状況を記載している残りのカードを、自社の強み(S)、弱み(W)、自社にとっての機会(O)、脅威(T)、の4つに分類し別の模造紙に貼り替えます。

⑤クロスSWOT分析と事実領域の設定

③で作成した課題関連図(プレ)の模造紙と、④でSWOTに分けられたカードが貼られた模造紙の両方を眺めながら事業領域を設定します。さらに、④のSWOT分析を行った事実情報カードから、設定した事業領域に関連するものだけを抜き出します。そして、強み・弱みと機会・脅威をそれぞれ掛け合わせるクロスSWOT分析を行い課題を抽出します。

⑥課題関連図の作成

課題関連図(プレ)から、事業領域に関係しない項目を外し、クロスSWOT分析で抽出した課題を入れることで、課題関連図が完成します。

講師の田中先生と亀田先生、そして鴨志田塾長がそれぞれの班のサポートをしながら、上記の手順で経営課題関連図が完成しました。課題関連図作成で課題を把握したら、その中から最重要課題を抽出。次に作成するのは実現方策図です。実現方策図は、重要戦略課題とその実現方策の関係を評した図、図を構成する要素はすべて経営課題関連図とクロスSWOT分析の表の中から抜き出したものになります。実現方策図は①診断先が求める基本課題と、②基本課題が抽出された背景(理由)、③重要戦略課題、④実現方策、⑤実現方策をさらに掘り下げた方策、そして⑥その方策を実現するにあたっての留意点を一枚の紙にまとめたもの。この、実現方策図に記載された内容が、診断先企業への提案内容となるわけです。経営課題関連図と実現方策図の作成は一日がかりの作業で、大変だったのではないかと思います。皆さんお疲れ様でした。実務診断はあとひと頑張りです。塾生の皆さんは班ごとの報告書を作成し、次回報告会で発表します。しっかりと時間をかけて実現方策図を完成させたので、きっと良い提案ができると思います。私も今から報告会を楽しみにしています！

(事務局長:金子敦彦)